



北町小だより

練馬区立北町小学校

校長 田村 亜紀子

<http://www.kitamachi-e.nerima-kyo.ed.jp/>

「すてき」な空間の向こうに…

校長 田村 亜紀子

3年に1度の「アートフェスタ」が終わり、いよいよ令和3年も、師走を迎えました。

アートフェスタでは、密をさけるため、児童も保護者の皆様も、鑑賞日を複数日設定いたしました。その結果、保護者のみの鑑賞時間で、ご両親や保護者の方々同士で微笑ましく見られたり、児童との鑑賞時間で、子供の工夫やがんばりを聞きながら作品と一緒に写真を撮られたりなど、複数回のご参観をいただいた方もおられました。中には、限られた時間の中、我が子の作品を見付けて喜ばれる姿もありました。いずれにしても、子供たち一人一人の個性あふれる作品を堪能いただけたと思います。

「わあ。夢の世界だ。」これは、1年生のある子が、体育館に入った時に、思わず出た言葉です。ひとつひとつの個性あふれる作品たちが、体育館の中いっばいに広がった空間は、まさに、夢の世界でした。各学年の共同作品もあり、「みんなで作上げた空間」として、体育館は「北町美術館」になりました。これは、やはり、学校全員で作上げる学校行事の醍醐味であったと思います。

作品を鑑賞するとき、子供たちには、「作品を見るときには、『上手』ではなく、『工夫』や『がんばり』を見付けましょう。」と話しました。図工専科からも「作った人の『思い』を考えながら鑑賞しましょう。」との助言がありました。

「上手だね。」という言葉は、一見、褒め言葉に見えます。しかし、気を付けなければいけないのは、「何が」です。「上手」の対義語として「下手」という言葉があります。つまり、できたものが「一定のレベルを満たしているもの」という「評価」の言葉なのです。そうすると、「ここまでする」を基準とした価値判断が育ってきます。一定の数値で表すことのできる力を「認知能力」と言います。数値化できる評価は、子供の状況を把握する上で必要な要素の一つではありますが、すべてではありません。

「素敵だね。」と、相手に共感したり、相手のよさを認めたりすることは、大切なコミュニケーションの言葉です。また、作品を創り出す想像力や、最後まで仕上げる根気など、形には表れにくいですが、子供たちの心の成長です。このような数値で表せない力を「非認知能力」と言います。様々な人との関わりの中で育まれるこの力は、社会の中で協働するのに必要な力です。この非認知能力を伸ばすことが重要であると再認識されています。学校でも、確かな学力を付けると共に、社会の中で共に生きていくために必要な力を付けていけるよう、引き続き、指導を重ねてまいります。

この1年間で、どんな「すてきな成長」が見られたのか、ぜひ、ご家庭でもお話いただき、新しい年を清々しく迎えらることを祈念いたします。

12月の生活目標 「外で元気に仲よく遊ぼう」

今月は、上記の目標に向けて指導を続けていきます。体調が悪くない子は外で元気に遊ぶように促し、教室に入る前に手洗いうがいの励行を徹底させてまいります。ご家庭でも、ゲームやテレビだけでなく、元気に外遊びができるように声をかけてください。

クリーン運動

クリーン運動では、日頃、お世話になっている地域に感謝の気持ちを込めて、学年で地域を分担し、清掃活動を行ってきました。このコロナ禍においては、地域のゴミを拾うことが困難なため、学校内の清掃活動（主に落ち葉清掃）を行うことになりました。子供たちは、活動に対して積極的に取り組み、「自分たちの学校をきれいにしよう」という気持ちを高めることができます。

12月の行事予定

1	水	安全指導
2	木	クリーン運動(4) 練馬大根収穫(3)
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	委員会活動 セーフティ教室(2)
7	火	起震車(1) 避難訓練 セーフティ教室(4・6) クリーン運動(5)
8	水	消防署見学(3) 長縄跳び(4・5・6) 研究授業(1年5組)
9	木	長縄跳び(1・2・3・す) クリーン運動(6)
10	金	小連合音楽鑑賞教室(5)
11	土	土曜授業・学校公開(C4時程) セーフティ教室(保護者向け 及び1・3・5・すまいる)
12	日	
13	月	クラブ活動 煙体験(2・3) 縦割りウィーク(赤)
14	火	縦割りウィーク(緑) クリーン運動予備日 講演(落語)⑤⑥(5)
15	水	学納金引き落とし
16	木	社会科見学(5) クリーン運動予備日
17	金	縦割りウィーク(黄)
18	土	
19	日	
20	月	クラブ活動 救命入門教室(6)
21	火	
22	水	
23	木	給食終 4時間授業
24	金	終業式 大掃除 2学期終
25	土	冬季休業日始
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	機械警備始
30	木	
31	金	大晦日

たてわり班活動・ふれあい月間にむけて

12月から、「たてわり班活動」に取り組み始めます。6年生が中心となって進める異学年活動です。これまでは、感染症対策のため、同学年の横の広がりをつくる活動を進めてきました。1年生から6年生がいくつかの班に分かれて、たての繋がりを大切に活動します。互いを知り、互いを思いやる活動となるよう、北町小のリーダーの6年生、来年度これを引き継ぐ5年生、たてわり班活動の楽しさを実感する4年生から1年生、一人一人の活動に期待しています。

ふれあい月間では、2年ぶりに「このような北町小学校にしたい。」という願いを全校児童から集め、標語作りをします。代表委員会が協力してアンケート用紙作り、集計、スローガン掲示などを分担します。

校内研究について

今年度の校内研究は、昨年度に続き「特別の教科 道徳」の研究に取り組んでいます。研究主題「自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成」に「指導方法を明確にした道徳授業を通して」という副主題を新たに設けました。去年の研究を踏まえて、指導方法に更なる研鑽を図り、研究を深めているところです。

学校全体の目指す児童像を「自分自身を見つめ、自分事として考えることができる子供」とし、各学年とすまいる学級でそれぞれが目指す児童像を決め、実態に合わせた研究授業を行っています。

道徳の授業を通して、子供たちがどのように「道徳性(人間としてよりよく生きようとする人間特有のよさ)を養うこと」ができていのか、その変容を見取ることを大切にしながら、2年間の研究をまとめていきます。

セーフティ教室

学校公開日の12月11日(土)3校時に、保護者向けセーフティ教室を実施します。光が丘警察署のスクールサポーターの方をお招きして、最近のインターネット関連の問題点について、具体的な事例について話をさせていただきます。是非、ご参観ください。

なお、コロナ禍で密を避けるため、児童対象のセーフティ教室は、学年を分けて実施します。12月11日(土)は、1・3・5年生・すまいるです。当該学年の保護者の皆様は、参観できます。

2・4・6年生については、別日で実施します。2年生は、12月6日(月)、4・6年生は、12月7日(火)に実施します。2・4・6年生の保護者の皆様には、児童対象のセーフティ教室を参観いただくことができませんので、ご了承ください。

アートフェスタ

今年のアートフェスタは、クラスごとにゆったりと鑑賞を行いました。子供たちは、作品をじっくりと眺め「この作品、なんだか、好きだな。」「すごい。どうやって作ったのかなあ」と一つ一つの良さをしっかり味わっていました。

